

野嶋副社長が電気学会業績賞を受賞

去る5月16日電気学会第91回通常総会において、野嶋副社長が業績賞を受賞されました。

電気学会では長年の電気学術・技術の発展や学会の発展に貢献した個人に対して業績賞を贈呈してきています。今回、野嶋副社長は永年にわたり基幹系統計画の策定業務に携わるとともに、電力流通設備全般に亘り、技術開発に広くリーダーシップを発揮し、電力技術の向上に大きく貢献されたことが認められたものです。

このほか、研究論文などで優秀な成績をあげた個人やグループに贈呈されている電気学術振興賞と優秀技術活動賞の合計27件の内、当社関係者が5件授与されました。



業績賞贈呈式（円内は受賞後挨拶される野嶋副社長）

電気学術振興賞（進歩賞）	電気学術振興賞（論文賞）
新規残留電荷法によるCVケーブル劣化診断技術の開発 （電力技術研究所電力ネットワークG 内田克己、宮島和久 他）	界面拡散法によるCVケーブル接続部の絶縁性能向上 （電力技術研究所電力ネットワークG 内田克己 他）
ガス遮断器における直流分減衰時定数に対する遮断性能評価法の開発 （工務部技術開発G 熊井俊哉 他）	基幹系統における不平衡電流発生メカニズムの検討 （名古屋支店蟹江電力センター変電技術課 山崎雄二 電力技術研究所電力ネットワークG 小川重明、上田 玄、 Suresh Chand Verma 他）
超電導限流変圧器の開発 - 超電導変圧器と超電導限流器との複合多機能化 （電力技術研究所電力ネットワークG 長屋重夫 他）	

電力土木技術協会「高橋賞」を受賞

元碧南火力建設事務所 土木課

元碧南火力建設事務所土木課の中島英雄さん(現土木建築部水力G)、吉沢真人さん(現土木建築部計画G)、西牧孝洋さん(現飯支土木建築課)、茶谷裕二さん(現火力セ土木課)ら4人は、平成15年5月21日に電力土木技術協会より高橋賞を授与されました。この賞は、電力土木の技術の進歩に多大な功績を残した高橋三郎氏の名に因み、質の高い研究を通じて技術の発展と向上に著しく寄与した人に授与され、電力土木の分野では権威ある賞として知られています。4人の方々は、「碧南火力発電所4・5号機半地下式貯炭場および雨水地下貯留槽の設計・施工」と題する論文を協会誌「電力土木」に発表し、高く評価されています。この論文では、碧南火力発電所4・5号機用の貯炭場を増設するに当たり、狭隘なスペースでの貯炭容量および雨水貯留容量を確保するために、国内初となる半地下式貯炭場とその下部に設置した雨水地下貯留槽を含む雨水処理システムの開発について報告され

ています。他工事で多量に発生した護岸捨石等の撤去材を雨水地下貯留槽の中詰め材に有効利用することにより、経済的な雨水貯留槽を構築するとともに、貯炭場の地盤改良材としての2役を担わせることにより、大幅なコストダウンに寄与するシステムを開発しました。



左から茶谷、中島、吉沢、西牧さん